



〈9〉

「あびこ・シニア・ライフ・ネット」のHP

定年後、地域に貢献したい。分500円。パソコン指導の意欲はあれど、金なし、コネ他、「会員ができることは何なし、仲間なし。パソコン教でもやる」の方針で庭仕事、室をやるつにも、事務所も「買物の付き添い、病院の送迎も。会員の裁量で、パソコンもない。ならば出向いで教えようと、12年前に5人で活動を始めた佐々木敏夫さん(79)。千葉県我孫子市を中心に会員550人のNPO

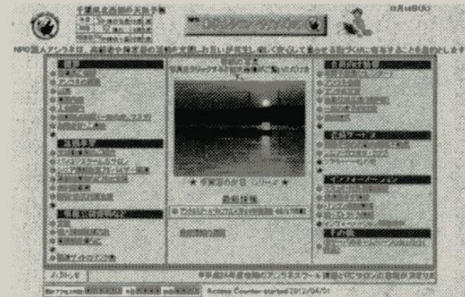
パソコン通じて広がる共助

買い物、付き添いなど生活支援

法人「あびこ・シニア・ライフ」を1時間勉強した後、3時フ・ネット」(アシラネ)に間お茶を飲みながらおしゃべりして、料金1000円という場合もあるそうだ。平均年齢は65歳で、支援する活動会員は50人。料金は30

てもらえる」ととても喜んでくれます。パソコンがそのきつけをつくってくれました。大病をして自宅に引きこもっていた会員の大倉富男さん(79)に、佐々木さんは「あなたにパソコンを教わりたい人が待っている」と励ました。

「(パソコンで作れる)町内会のチラシや会計簿で困っている役員は多い。迷子の犬猫捜しのポスターが役立つ喜ばれる。寝込んでなんかいられません。アシラネは人を元気にする場所」という大倉さんの笑顔がカッコいい。大倉さんに指導を受けた女



買い物支援を受けた女性(中央)に付き添う佐々木敏夫さん(右)と会員の伊藤久子さん(左)＝千葉県我孫子市

性(77)は「夫と息子に先立つてコンサートを楽しんでいたが、一時は途方に暮れます。佐々木さんは、共助の絆をパソコンでつくる達人である。(老テック研究会事務局長・近藤則子)